

義太夫まこと都と一

義太夫まこと

義太夫まこと



目錄

忠臣藏シウシンザウ

久松野咲村キウマツノサキムラ

秋津嶋アキツシマ

吃又平キツマツヘイ

帶屋オビヤ

合邦辻カウキツジ

太平記テイヘイキ

伊賀越イガノコシ

加賀見山カガミヤマ

小春紙屋コハルシミヤ

喜内住家キノウヂヤ

箱根ハコネ

阿波鳴戸アハナミド

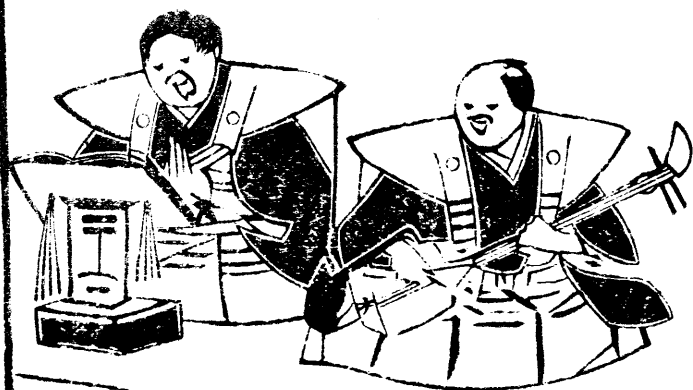
阿漕浦アウラ

白木屋シロキヤ

白石新吉原シロイシニイロ

盛衰記セイサイキ

以上



み

松一とや

お緑野咲

素おろと

余り逢ふをわたり

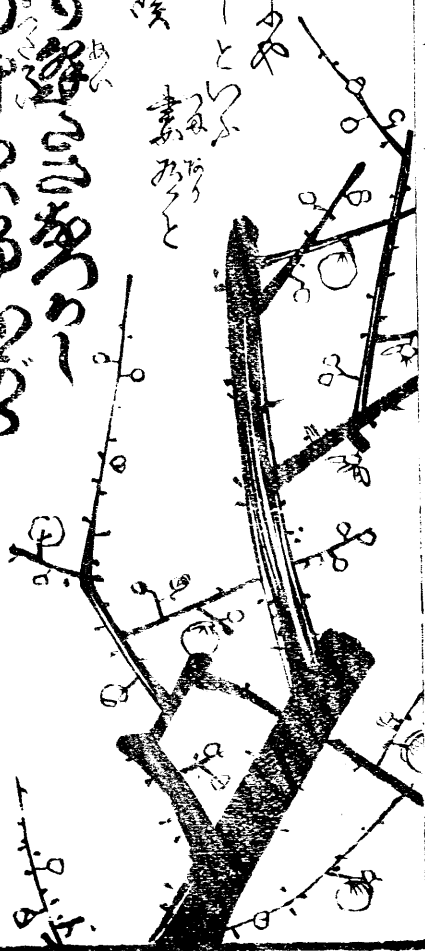
さゆ神あゝるあつ

秋香ぬせむふたて遠か

おやうと道中あゝるあつ

いとひのなぬ人へあつ

まゝもふらうしあつ



世間で

ほーい

下^あ居^あきんせ

まア無^あ理^あと

厭^あ津^あ海^あ丹

い^あの^あ男^あは^あう^あけ^あぬ^あ連^あは^あと
い^あの^あ者^あ傍^あふ^あ産^あ孫^あの^あ色^あと
交^あて^あの^あり^あ見^あえ^あよ^あり^あか^あ麻^あ
ぬ^あと^あい^あわ^あん^あま^あう^あぬ^あづ^あよ^あい
相^あ親^あと^あさ^あり^あぬ^あん^あん
さ^ああ^あつ^あま^あひ^あか

一^あ身^あた^あけ^あを

立^あや^あこ^あう



たけぬあがらも

ねーも

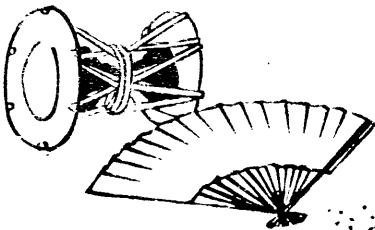
吃又平

とちよ

いさぎ稼き又平であぐの
なりいびいお山張やあまう
かさいひやううんのあらくま
て甲斐あしとあまもんでの
あねんぐり

ぬーのひもあ

若者あたる



子他 志ありと

傷され ても

お守 筆屋

私も如くお守物

大なる男と人の花

後にも世に人々の位

も思ふごとくお守物

げれしものお守物



ぬーが死ぬあし

もろともよ

おま

下男

およびあいのよ

やれくさむらよ

合邦住家

お前のお洵れど

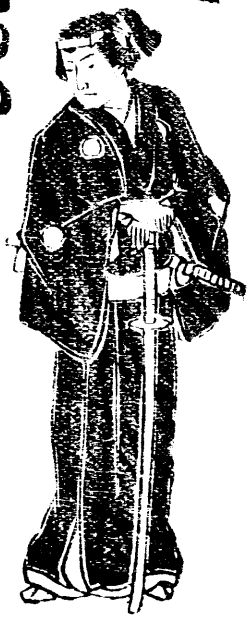
いつあき色をたれ

月あんやう後種

おれぬるの森のるも

王をれもきとつれぬひあまの

ておれぬいふてもねるの乃



せきつらきあはれ
 りつらねえとせ
 みるきよあちりそ
 しつよとくはらめ
 とわともちあひら
 ちきつしわしめら
 くねはがらえとくは

親のいけふむらあ

心様と

下巻



煙草子印紙と

はらんま

伊豆嶽八首

長ざら

うらみ

ふ一日ふゑり移り
深ちりふるり移付を
老く白歯とすす深ふ
深連てもえびでもあひ初る
ほんのうけびりえげぬ不とげぬ



長ざら
うらみ
はらんま

下畧

嫁ごあまへのつらぐま
まます

かえん七ツ目

あふ三年でい年
あけおれなまあふ
しとさつをあふ
ひおと猶てりるとちいさ

子使りあへもの

おひそ
納まる

ちりまきさ

あふ

下男



あちのちあちのち

居るところへ

小倉

憎まぬ人を憎むのいかに

かきは十月津の妻の

子おまふめり秋葉

家と枯あへてけすい女

けふとまふふい鬼の位の境

人よころろと

おきころろ

ゆるり

下



外^{そと}より

持ちあきこのの

赤内伝来

初子^{はつこ}あつらひぬを

ふんて終りつまふ

史^しの傍^{はた}おひ出^い端^は

着^きの先^{さき}かりそんとは出^いま

ついであつらひぬを

あつらひぬを



ついであつらひぬを

下界

人目せざる

洞のまぐぐれ

拜

糸根いさう藤

〜
又ふ我王^{はと}行^はせ

のゆ^はえの^はあ^はる

の^はあ^はる^はの^はあ^はる

よと^はあ^はる^はの^はあ^はる

病^は目^はの^はあ^はる

や^はあ^はる^はの^はあ^はる

身^はを^はあ^はる^はの^はあ^はる

柔

い^はる^はの^はあ^はる



コレラ痛ひびより

ヤブいぬの

阿波あある

今あさうあらある

けれといないて

信いじいのいまいのいまい

ないといまいのいまい

もいまいのいまい

重いいいのいまい



あいまいのいまい

下あり

可^かく^くく^くの目鏡^{めくわ}で

あこぎ^{あこぎ}平治^{へいぢ}の家^{いへ} よこしやまの

あ^あの^の想^{おも}ひ^ひも^もさ^さか^かふ^ふよ

書^かき^きよ^よう^う後^ごの^のた^ただ^だを

ま^まの^の味^{あじ}青^{あお}け^けの^のう^うら^らひ^ひか

も^もの^の意^い生^{せい}の^のあ^あの^のの^のの^の

し^しと^と覺^{かく}て^て悔^くし^しに^にあ^あれ

上^{かみ}と^と男^{おとこ}垣^{かき}ふ^ふの^のほ^ほの^のる

下^{した}各^ご

死^しんで^でも^もあ^あん

縁^{えん}を^をか^かき^き切^きり^りの^のり



とよ

一^あひ^あま^あら^あめ

又^まあ^あめ^あひ^あめ

お駒
ヤエ 白木や

一^あま^あら^あめ^あら^あめ

お^あま^あら^あめ^あ

お^あま^あら^あめ^あ

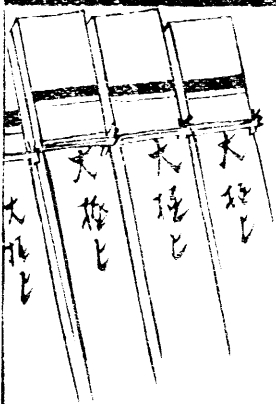
お^あま^あら^あめ^あ

お^あま^あら^あめ^あ

お^あま^あら^あめ^あ



まづらひしきよのちはとらふとらふ
 そつとつとつしりかどの天祚ぬへ
 けうひて梅せし生影のまつをか
 うびやう梅しし遠のの世も三世
 も先さの世のびてちうのし中
 ちやあいういお



おひ捨られ

ト男

おのれど

一田舎ものさへ

白石 吉原

いざんきけれど

形あつてのよしの霧あ
 びけ妹のま光あつた
 ぬでぬめぬあつた
 ろいでもあつたよ
 もやあつたよ
 物あつたよ



と一

まろとさのます

盛衰記
さのろ

だまうちのやよ

ておつていぬけ

あのと娘の記の心

わとといふつちね

ぬの未だたぬの仙平

舟古平好手歌百船のそら

づふ子僧百僧の杖表あさぬいより



かた

下畧

くけを

明治二十四年十二月六日印刷
今年八月八日出版

編輯兼

發行者

吉澤富太郎

東京市本所區松町三丁目拾壹地

印刷者

佐藤三次郎

同 下谷區練堀町拾壹地

義太夫
夫さわりの都之二冊
紫ん詩入がと一冊
二冊
あつた都之二冊
一冊
花ききり二冊
二冊